

【3. 学生及び研究者支援】 ⑦受入れた学生及び研究者用の宿泊施設の確保

支部名	大学名	活 動 実 績
北海道	北海道大学	○研究支援のため受け入れた被災大学の大学院生（外国人留学生）1名に対して、本学インターナショナルハウスの入居を手配。また、教員1名、大学院生2名についてホテルを手配。
北海道	帯広畜産大学	空き学生寄宿舍を利用できる体制を整備した。
北海道	北見工業大学	経済的な理由から学生1名を職員用宿舍へ無償で受け入れた。
東北	山形大学	○学生避難所として工学部百周年記念会館を開放した。 ○学生・教職員向けに学部内宿泊施設（ゲストハウスYU）を開放した。
東京	東京外国語大学	○研究室、研究に伴う宿泊施設等について10人分程度の提供を用意した。 http://www.tufs.ac.jp/jishin/information/kenkyusha_shien.html 研究者用に宿舍を臨時で利用できるよう体制を整備したが、調査時点で希望者はいなかった。
東京	東京農工大学	○文部科学省からの照会に基づき、利用可能な宿舍・寮の戸数を回答したが、入居者を受入れた実績はなかった。
東京	東京工業大学	○被災学生・大学院生に対して本学が所有する学生宿舍を無償（光熱水料等は実費負担）貸与することとした。
東京	お茶の水女子大学	○個別に対応
関東・甲信越	横浜国立大学	○職員用宿舍、学生寮等の施設を確保した。 http://www.ynu.ac.jp/hus/koho/2665/detail.html
関東・甲信越	新潟大学	○職員宿舍等36室（五十嵐地区職員宿舍10室、国際交流会館4室、理学部附属臨海実験所宿泊施設8室、農学部附属フィールドセンター宿泊施設14室（村松8、佐渡6））を確保した。
関東・甲信越	総合研究大学院大学	○宿泊施設を臨時で利用できるよう体制を整備 http://center.soken.ac.jp/act/press20110408.html
東海・北陸	金沢大学	・東北大学から特別研究学生（大学院自然科学研究科）1名を受入（学寮に入寮）（4月27日） →受入期間は7月末まで。 ・宿舍の入居可能部屋数を調査（3月15日） ・被災者の受入可能人数を調査（3月17日）
東海・北陸	福井大学	○文京キャンパス近隣住民（大家）からのアパート無償提供について、大学ホームページにて周知 ○留学生用宿舍（松岡キャンパス）の空室を利用できるよう体制を整備（空室の確保） ○新入生1名を入学前から学生宿舍に入居できるよう措置
東海・北陸	岐阜大学	今年度本学入学の被災学生は、優先的に学生寮に入寮できるように配慮する。
東海・北陸	静岡大学	○職員宿舍、ゲストハウス等を臨時で利用できるよう体制を整備。 URL: http://www.shizuoka.ac.jp/th_earthquake/eq_ukeire_forout.html URL: http://www.shizuoka.ac.jp/th_earthquake/eq_kisoku.pdf
東海・北陸	名古屋大学	本学のレジデンス等の空さを確保しつつ、愛知県と協議しながら県営住宅を提供できるよう対応したが、入居希望はなかった。
東海・北陸	名古屋工業大学	○職員用宿舍を臨時で利用できるよう体制を整備
東海・北陸	三重大学	○職員宿舍、学生寮、学内宿泊施設を利用可能とした。（現在入居希望者なし）
東海・北陸	北陸先端科学技術大学院大学	特別聴講学生や特別研究学生として受け入れる学生に対して学生寄宿舍を宿泊施設として提供することとし、平成23年7月に特別研究学生を1名受け入れた。
近畿	京都大学	・本学宿泊施設5室を用意したが、入居者はなかった。
近畿	大阪大学	○職員用宿舍及び宿泊施設を臨時で利用できるよう体制を整備 確保した72戸のうち提供実績16戸（学生受入数：東北大8名、研究者受入数：東北大8名）

【3. 学生及び研究者支援】 ⑦受け入れた学生及び研究者用の宿泊施設の確保

支部名	大学名	活 動 実 績
近畿	神戸大学	○特例措置により、寄宿料不徴収とした学生寮入寮制度を整備 ○留学生寮（インターナショナル・レジデンス）1室を被災者（研究員）に提供（4月末で退去）
近畿	奈良先端科学技術大学院大学	○学内宿泊施設及び職員用宿舎を臨時で利用できるよう体制を整備 ○受け入れた学生1名を学内宿泊施設に入居（7月11日～8月10日）
中国・四国	鳥取大学	○職員用宿舎を臨時で利用できるよう体制を整備中（職員宿舎16室を被災者用に確保したが、現在、入居希望者は無）
中国・四国	広島大学	○ゲストハウス、職員用宿舎及び学生宿舎を無料で利用できるよう体制を整備（受入：学部生1人、大学院生1人、学振特別研究員1人）
中国・四国	山口大学	○希望者があった場合に対応することとしていたが、希望者はなかった。
中国・四国	鳴門教育大学	○職員宿舎30室を被災者用に準備している、2/29現在、入居希望者はいない。
中国・四国	愛媛大学	○学生宿舎50室を無償貸与できるよう措置を講じた。（東北大学大学院生1名、宇都宮大学生2名に無償貸与、北里大学大学院生1名、愛南町に宿舎を借り上げ北里大学生2名、同大学院生1名に無償貸与）
中国・四国	高知大学	○福利厚生施設（非常勤講師宿泊施設および厚生会館）において、学生2名と研究者3名を受け入れた。宿泊利用料は、徴収しない。
九州	福岡教育大学	○受け入れた学生が希望すれば学生寮への入寮が可能とした。（現時点で受入実績なし） ○被災地の研究者の一時受け入れのための体制を整備した。（現時点で希望者なし）
九州	九州大学	・被災地の学生や研究者の方々が学生寮、ドミトリー、職員用宿舎を臨時で利用できるよう体制を整備。
九州	九州工業大学	○学寮、職員宿舎、学内宿泊施設及び学外研修施設の利用を可能とし、使用料は原則免除とすることとした。
九州	佐賀大学	○利用可能な職員用宿舎・宿泊施設等22室の情報提供を行ったが、入居及び利用希望者はなかった。
九州	長崎大学	○職員用宿舎を臨時で利用できるよう体制を整備（特別研究学生及び特別聴講学生が利用中）
九州	熊本大学	○学生・留学生用宿舎約15室、教職員用宿舎1室、その他宿泊施設を被災者用として確保し、これまでのところ、特別研究学生として受け入れた東北大学大学院生（1名）に非常勤講師宿泊施設を無償貸与（平成23年7月19日～8月2日）した。
九州	大分大学	職員用宿舎を臨時で利用することは可能である。
九州	宮崎大学	○寄宿舎及び職員用宿舎を利用できるよう体制を整備
九州	鹿児島大学	○職員用宿舎等（13戸）を臨時で利用できるよう体制を整備
九州	鹿屋体育大学	○受入学生及び研究者用の宿泊施設として、職員用宿舎7室を準備しているが、現在のところ申出のあった（受入した）学生及び研究者はいない。
九州	琉球大学	○いつでも入居可能なように職員宿舎を整備・確保しているが、現時点での入居希望者はいない。 ○国際交流会館の外国人研究者宿泊施設2部屋を被災者用に用意しているが、現時点での入居希望者はいない。